

鴨川市地域公共交通会議 令和元年度第3回会議

会 議 録

日時：令和元年10月16日（水）
午後2時30分から午後3時30分まで
場所：鴨川市役所 7階会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏 名	備 考
会 長	鴨川市 副市長	小柴 祥司	
	鴨川日東バス株式会社 代表取締役	土田 真	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役社長	本多 信介	
	鴨川日東バス株式会社 互助会	森 巖	
	千葉県鴨川警察署 交通課長	林 保充	
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班 主査	池田 絵里子	
	鴨川市校長会 会長	洲永 康弘	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	遠山 和彦	
	利用者代表	藤本 文子	公募委員
	利用者代表	手塚 治代	
	利用者代表	里見 桂子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
副会長	鴨川市福祉作業所 所長	竹井 徹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 事業部企画課係長	田中 雄一	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	斯波 恭太郎	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	矢代 信博	

2 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市経営企画部まちづくり推進課 課長	塚越 均	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課 課長補佐	藤代 公貴	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課 政策推進係 主査	山田 隆光	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課 政策推進係 主事	加藤 貴啓	

[配布資料]

- ・席次表，出席者名簿，委員名簿
 - ・資料 1 鴨川市公共交通の平成30年度実績について
 - ・資料 2 公共交通乗り方教室について
 - ・資料 3 予約制乗合タクシーの利用促進に係るお試し乗車券の配布について
-

1 開会（午後 2 時30分） 司会 経営企画部まちづくり推進課 塚越課長

- ・会議の成立、公開及び傍聴者（なし）の報告
- ・配布資料の確認

2 会長あいさつ

（要旨）

ご多用にも関わらず、本会議に出席いただき感謝する。

先日の台風 15 号、台風 19 号にて被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

本日の会議では、鴨川市公共交通の平成 30 年度実績について、公共交通乗り方教室についてご報告申し上げます。

また、予約制乗合タクシーの利用促進について、ご協議いただきたい。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げ、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

3 議事 議長 小柴会長

会長を議長として進行。

会議録署名人として、本多信介 委員を指名。

報告案件 1 鴨川市公共交通の平成30年度実績について
（事務局から、資料 1 に即して説明。）

※委員からの意見 3 件あり。（議長が求めたもの）

遠山委員：電気代などのコストが非常に掛かることから、編成車両数を見直すことが必要になってくると思われるが、現場からは現在の運行本数は維持していくよう要望している。

今回の台風では、利用者の皆様にはご迷惑をお掛けした。電気が来ないことには、電車は動かすことが出来ない。首都圏から少しずつ電気は送ってもらっていたが、踏切が動かないと運行が出来ない状況であった。また、一番のネックは架線などへの倒木であり、民地からの倒木の伐採などについては地権者の同意も必要となってくるので時間を要する。その対策のため路線管理の部署では、事前に地権者にケースによっては伐採するなどの同意をもらって対応するよう動いている。

土田委員：今年度、10月 1 日より市内線の大幅なダイヤ改正を実施し、便数も減った。現在、実態調査ということで、どの位の影響があるか調査を実施している。今まで、1 車両について 5～6 人の乗車率が、15人～20人と乗車密度は上がっている。ダイヤ改正を実施してまだ半月なので、実態調

査を継続して行い、精査していきたい。

今後は、減らすだけではなく利用促進のために、主となる亀田病院間の新規の路線も考えていかなければならないと思う。

本多委員：所有車両数は大きく変わっていないが、乗務員不足の影響で実際に稼働している車両数は減っている。現在、働き方改革や最低賃金などの問題で、乗務員を雇用するのも大変な業界となっている。タクシー業界では女性乗務員を増やすなど、いろいろな策を講じている最中で、乗務員を確保し車両を稼働していきたい。そうすればいろいろな数値も改善してくるのではないかなと思う。

報告案件2 公共交通乗り方教室について (事務局から、資料2に即して説明。)

※委員からの質問2件、意見2件あり。

池田委員：鴨川市内にいくつの小学校があるのか。また、何年位で一巡するのか。

事務局：現在、鴨川市内の小学校数は7校である。平成28度から毎年1校ずつ実施しているので、今年度を含めて4校が終了する。残りは3校となるので、引き続き1校ずつ実施するとあと3年で一巡することになる。

池田委員：事業者の方々の協力も必要なことから難しいとは思いますが、出来れば1年に1校ではなく、もう少し実施出来ればと考える。

乗り方教室の時間については、総合学習の時間を割り当ててもらっているのか。

洲永委員：4年生の総合学習の時間を割り当てて実施することになっている。

洲永委員：現在、ほとんどの家庭が外出時には自家用車での移動になる。子供たちが大きくなって都会に出た時、電車やバスなどの公共交通機関を利用することがあるので、小さいうちに乗り方を学習することは有効であると思う。

協議案件1 予約制乗合タクシーの利用促進について (事務局から、資料3に即して説明。)

※委員からの質問3件あり。

藤本委員：他の地区で実施はしないのか。

事務局：これまでも過去の会議で説明をしてきたが、他の地域での運行については、長狭地域での結果を踏まえながら検討することになる。まずは、実証運行地域である長狭地域で定着出来るよう利用促進の施策を実施していきたいと考えている。

議長：いつまで実施するのか。

事務局：10月末までの登録者については一斉に送付し、11月以降の登録者については登録証の交付と併せて郵送する。終了の期間については、運行が継続する限りということで考えている。

藤本委員：現在の運行形態をこの先も継続していくのか。

事務局：現状の利用状況では本格運行への移行は難しい状況である。来年度、ど

のような運行形態で実証運行を継続していくかは次回の会議で協議頂きたいと考えている。

↓

資料のとおり承認

4 その他

※委員からの質問 1 件、意見 2 件

藤本委員：報告案件 1 で、各公共交通の利用者数が全体的に減っているとの報告だったが、鴨川市の人口が減っているのも背景にあるのか。

議 長：当然あると思われる。

手塚委員：バスも電車も増やすことは難しいと思うが、現状の便を維持していったほしい。また、高齢者がイオンで買い物をして、路線バスに乗るため鴨川駅東口まで渡って乗車するのは大変なので、コミュニティバスと同じように、出来れば路線バスも鴨川駅西口から乗降出来るようになれば非常に便利である。

里見委員：よく駅周辺にイオンの買い物カートが置いてある。おそらく鴨川駅東口からバスに乗るため、荷物を持って行くのが大変な高齢者の方々がカートを使用して置いていってしまっているのではないか。

遠山委員：駅としても非常に困っている。イオンでカート置き場を設置してもらえば助かる。

議 長：イオンの方に状況を説明し話をしてみる。

事務局：次回会議は11月 8 日（金）14：30から、場所は本日と同じ市役所 7 階会議室で予定をしている。後日、改めて文書にて連絡をする。

また、11月から開始する高速バスの実証運行について周知をお願いしたい。

5 閉会（午後 3 時30分）

以上

令和元年10月24日

会議録署名人 本多 信介